



4月中旬
開花・受粉



ミツバチの受粉に加え、人工授粉を行います。薄いピンク色の花のおしべから、白い花のめしべに授粉します。

桜の花と同じ時期に咲くスモモの花。美しい白色が園地に広がります。(写真は深沢区)



5月中旬
摘果



6月上旬～中旬
傘かけ

太陽や貴陽などの大きな実になる品種は、水分を多く含むと実が割れてしまいます。傘をかぶせて雨などから実を守ります。



大きく傷のない実を育てるために、不要な実を落とします。実が隣り合っていたり、木にあたっていたりする実を手で採っていく作業です。

大きなスモモ

れいぎよく

麗玉

長野県果樹試験場で開発された大玉のスモモ「スモモ長果1」（シナノパールで品種登録出願公表中）。その中でも、200g以上で糖度18度以上の高品質な果実のみが「麗玉」という商品名になります。

麗玉の生産に取り組む上原さんは「皮が柔らかく、甘いのが特徴です。モモと変わらない大きさの果肉は



JA 中野市プラム部会会長
上原 正博さん

とてもジューシーでおいしいですよ」と話します。

5月から7月はスモモに力を入れて果樹園地に通うという上原さん。

「いろいろな果物があり、さまざまな品種が生まれる業界だから、新しいことに挑戦していくことが大事なんです」と語ります。

上原さんは「麗玉の生産には、昨年からの取り組みがあります。始めたばかりで出荷量は少ないですが、頑張っていきたいと思っています」と意気込みます。

6月下旬 収穫・出荷



今年も中野市の農家の皆さんが丹精込めて育てた、たくさんのお果物が出荷の時期を迎えます。